

# 椎間板ヘルニアについて

## 椎間板ヘルニアとは

背骨の間にはクッションの役割をする椎間板というものがあります。椎間板の中央には髄核というものがあります。椎間板とは髄核を守るように年輪のような繊維で覆っている弾力性のあるバームクーヘンのようなものです。その髄核がバームクーヘンを突き抜けて出てくる状態を椎間板ヘルニアといいます。

## 症状について

飛び出した髄核が神経を圧迫し、腰痛・下肢痛・しびれがでることもあります。何かの動作で急激に発症する場合、徐々に症状が強くなる場合、身体を曲げるのが出来ない場合、伸ばすことが出来ない場合など様々です。

## 椎間板ヘルニアの治療について

治りにくい椎間板ヘルニアの種類

全てではありませんが痛みのある方向に上半身を屈曲した姿勢でいらっしゃるヘルニアの患者さんは矯正が難しく、日常動作でヘルニアの状態が悪化する場合があるので注意が必要です。

(髄核が椎間板外に飛び出る)

治る可能性が高い椎間板ヘルニアの種類

髄核が椎間板の線維輪の中に出ているものは適切な矯正と ACUSCOPE 治療で治すことが可能です。

## 椎間板ヘルニアは治るの？

飛び出した髄核は白血球によって食べられてしまうそうです。

2～3ヶ月程度で髄核が食べられなくなることもあります。その場合炎症も痛みも無くなる場合があります。

そのまま残ってしまうものもかなりありますが、急性期のような神経圧迫・炎症が無い場合痛みを感じないこともあります。